

一般質問

～8人の議員が市政を問う～

※ 一般質問のタイトル及び質問内容は質問者の責任において作成しています。

P 9 須田 勝 議員

渋川再生で市民のしあわせを

- 自治会改革
- 職員改革
- 選挙改革

P 9 田邊 寛治 議員

- 学校給食共同調理場整備事業全般について
 - 1 建設の必要性と問題点
 - 2 アレルギー対策と現況
- 教育分野の無償化の考えについて

P 10 山崎 正男 議員

高齢者対策について

- 介護施設の状況
- 高齢者の健康寿命の促進

P 10 中澤 広行 議員

- 路線バス
- 新庁舎
- 市道管理
- 三原田地区の諸問題
- 吾妻川橋りょう2
- 災害協定

P 11 細谷 浩 議員

これからの渋川について

- 農業振興
- 教育環境
- 暮らしやすい渋川

P 11 角田 喜和 議員

- 環境問題について
- 国民健康保険税の引き下げについて

P 12 加藤 幸子 議員

- 八木原駅周辺整備計画について
- 高齢者対策について
- 子育て支援について

P 12 安力川 信之 議員

- 地域包括ケアシステムの取り組みについて
- 学ぶ力を育むまちづくり

※ 3月定例会時点での発言のまま表記しています。

一般質問の詳しい内容は、会議録検索システムまたは議会放映システムをご覧ください。渋川市議会ホームページからご覧いただけます。

一般質問



須田 勝

渋川再生で市民のしあわせを

自治会改革

質問 赤城、北橋地区は、自治会役員、会長の任期が1年であり、要望した事業が達成されないまま役員改選になる。全市統一の役員任期を。また人口減少、世帯数減少で自治会機能が低下している。再編統合は、行政主導を望む。

市民部長

自治会の役員任期や再編統合については各自治会が主体となつて協議いただき、市は地域の課題解決に向け努めていきます。

質問 群馬銀行敷島支店が今年7月22日をもって、渋川支店と移転統合と聞かすが、地元自治会、地元住民は不便をきたす。市の考えは。

市長 群馬銀行敷島支店は地元の重要な金融機関と考えます。地元の皆さまと共に、群馬銀行に対し存続の要望をしたいと思います。

職員改革

質問 市職員の挨拶ができていない。生きていく上で基本だ。初歩的な指導は副市長がすべきだが早めに副市長を置く考えは。また職員の服装がまちまちである。統一

的な制服を貸与する考えはあるか。

市長 できるだけ副市長に適した人材を選任したいと考えます。

総務部長 厳しい財政状況を考えると、制服の貸与は難しいです。

選挙改革

質問 低投票率改善のため、投票に行きたくても行けない市民に移動投票所全域導入の考えは。また全介護施設での投票実施の考えは。

総務部長 移動投票所の全域導入は時間的制約から難しく、全介護施設での投票は施設側の体制が必要ですが、選管と協議します。



望まれる移動投票所



田邊 寛治

学校給食共同調理場整備事業全般

質問 (仮称)東部学校給食共同調理場一度凍結、再事業化の理由。

市長 児童生徒数の検証や財政負担を検討し、社会環境変化の観点から食物アレルギー対応の給食調理場が必要と判断しました。

質問 財源の内訳、合併特別債額。

教育部長 財源の内訳としては、国庫補助金1億1800万円、合併特別事業債14億6170万円、一般財源1億1530万円です。

質問 東部調理場のアレルギー対策と受け入れ体制は。

教育部長 特定原材料7品目に対応した給食を、各関係者と連携し、安全に提供します。

教育分野の無償化の考え方

質問 教育分野の手厚い施策と財源の充て方。無償化の考え方は。

教育部長 渋川市の未来を担う子どもへの投資として、有効な施策を実施し、保護者負担を軽減することとは価値のあることと考えます。

質問 ウォームアップティーチャの役割と責任は。

教育部長 不登校傾向の児童生徒の

個々の状況に応じて、寄り添いながら励ましたり学習を指導したりして、きめ細かな支援をします。

質問 不登校の選択肢としての権利のとらえ方とリスクの対応は。

教育部長 不登校を問題行動としてとらえるのではなく、子どもに安心できる居場所や見守る体制をつくるのが大切だと考えます。

質問 英語教育の低年齢化の考え。

教育部長 グローバル化が進む社会において、外国人との英語でのコミュニケーションに慣れ親しむことは大切だと考えます。



(仮称)東部学校給食共同調理場建設予定地

一般質問



山崎 正男

高齢者対策について

介護施設等に関して

質問 特別養護老人ホーム等の入所待ちの人数は。市として把握しているか。

保健福祉部長 入所申込者については、平成30年5月時点の調査では236人となっています。その内、緊急度の高い在宅者は47人です。

質問 国民年金受給額で介護施設等に入れる政策がとれないか。

保健福祉部長 施設入所者本人の年金収入で不足する場合については、親族等により負担することとなります。しかし、親族等からの支援が受けられない場合には、生活保護の対象となる場合もあります。

高齢者の健康寿命の促進

質問 吾妻川公園や市内の競技可能な公園等に複数の洋式トイレを設置してほしい。

建設部長 新年度から新たな事業を立ち上げ、トイレの洋式化を積極的に進めます。新年度は、吾妻川公園のトイレ改修を行います。



複数の洋式トイレの設置を

総合政策部長

社会体育施設全体のトイレが老朽化しているため、施設の利用状況が多い場所から計画的にトイレの洋式化を進めます。

質問 高齢者が計画を立てて動くために、市内循環バスの路線設置を要請する。

市長 高齢者の移動手段を確保するため、地域公共交通網形成計画を策定し、公共交通を総合的に見直していきたいと考えます。見直しに当たっては、循環型バスの運行も含めて検討し、利便性の向上を図っていききたいと考えます。



中澤 広行

スピード感で事業推進を

質問 明保野地区に乗り合いバスを運行すべきだ。

総合政策部長 市全体の路線を見直す中で、交通空白地の解消に向けた効果的な運行を研究します。

質問 新庁舎建設は平成35年から着手の計画だが、防災上問題だ。前倒しして早期に着手を。

市長 大型事業の完成を見通し、将来にわたり持続可能な財政運営を行いながら、できるだけ早く計画を立てていきたいと思えます。

質問 多くの市道の白線が消えている。インフラ水準の低下だ。各行政センターの権限で発注せよ。

市長 生活道路等緊急整備事業などにより、予算を確保して対応に努めていきます。

質問 三原田団地の県有地は防災上危険だ。景観も異常である。市から県に要望し直ちに撤去を。

市民部長 高い杭が非常に目に付く景観については、地域住民の立場に立って、県へ申し入れをしていきたいと思えます。

質問 三原田土地改良に伴う公園

の早期着工を。遊休地の宅地化は、

建設部長 総合計画に盛り込み、平成35年度以降に着手します。

農政部長 遊休地については、宅地造成を実施する方向で進めます。

質問 小野上地区の悲願である吾妻川橋りょう2の早期着工を。

市長 橋りょう工事が、合併時の約束であることは承知しています。大規模事業であるため、財政事情等を見極めながら取り組みます。

質問 災害協定は市内の団体と。
市長 災害にしっかり対応できるように協定を結んでいきます。



「異常な道路標示」「異様な景観(三原田団地)」

一般質問



細谷 浩

どつする？これからの渋川

農業振興

質問 法定伝染病の蔓延防止には発生時の迅速な防疫処理が求められるが、本市における態勢整備は。

農政部長 要綱で発生場所に応じた防疫態勢を定めており、県内で発生した場合は非常事態とし、対策本部を設置の上、県と連携して総合的な防疫対策を行います。

質問 家畜の伝染病予防には、農場内への野生動物の侵入防止が有効と考えられるが、フェンスの設置に補助金を付ける考えは。また野生動物の捕獲奨励金の増額は。

農政部長 補助事業による電牧柵の設置によって侵入防止対策を講じた後、状況に応じて検討します。捕獲奨励金については、捕獲業務委託契約の中で必要な経費として支払っています。

教育環境

質問 小中学生への授業研究や、教職員の研修の場として、本市の学校教育の要の施設である教育研究所の事業内容と、老朽化が進んでいる教育研究所の移転計画は。

教育長

「学力向上」「英語教育」「ICT活用」「教育相談」についての実践研究を進め、社会科副読本作成や教育相談事業、適応指導教室運営を行います。移転についても検討を進めています。

質問 小学校での英語教育の充実が求められているが、小学校教師の英語力向上への取り組みは。

教育長 渋川グローバル教育推進事業の一環として、指導力向上研修や渋川グローバルコミュニケーションをを行い、英語教育の指導の充実を図っていきます。



老朽化が進む教育研究所



角田 喜和

基金の一部を取り崩し負担軽減を

質問

国民健康保険税が高すぎる。市民は悲鳴をあげている。県議会でも国保援護課長が、新年度は国保納付金が増えると答弁している。渋川市の影響は。

市民部長 本市の納付金の影響額については、平成30年度に比べ平成31年度は、881万5832円の増額で、3・65%の増となっています。

質問 国保加入者への負担をこれ以上したら駄目だという状況が市長会で出されている。市長は、負担軽減について12月議会でも最小限の予算の中で検討するとしていた。国保基金の一部を取り崩し、負担軽減を図る考えは。

市長 国保税は平成30年度から3年間、所得割率を段階的に引き上げる激変緩和措置を講じており、不足分に国保基金を充当します。平成33年度からの国保税率は、医療費の増加や被保険者数の減少と国保基金額を考慮して検討します。

質問 金井にある大同特殊鋼(株)の廃棄物処分場からタンクローリー

で運んでいる液体について、平成29年8月の朝日新聞では環境基準の8倍を超える六価クロムに汚染された地下水であると報道された。私は廃棄物に該当すると考えているが、市の見解は。

市民部長 当該処分場の地下水に係る浄化対策として、県の指導の下、場内に設置した対策井戸からくみ上げた地下水も浸出水のほかに運搬していると認識しています。この浸出水が廃棄物に該当するかどうかについては、所管行政庁は群馬県ですので答える立場にありません。



汚染地下水を運ぶタンクローリー



加藤 幸子

八木原駅はバリアフリー化に

質問 八木原駅の自由通路・橋上駅舎化に伴いエレベーター設置とバリアフリー化の実現を。地元の要望聴取や道路・駅前整備も含めて、早急に地元説明会の開催を。

建設部長 利便性や安全性向上のためバリアフリー化に積極的に取り組みます。東側道路は、説明会を3月中旬に開催し、今後も地元の意見を聴取し整備を進めます。

質問 高齢者の移動手段として、タクシー券48枚を配布予定。市民への周知・申請方法については。

総合政策部長 市の広報紙で周知すると同時に民生委員にも周知をお願いし、本庁と各行政センターで申請を受け付けたいと考えます。

質問 手軽に使い高齢者の足になるシルバーカー購入補助の考えは。

保健福祉部長 介護保険でレンタル可能で補助予定はありませんが、他市を参考に研究していきます。

質問 加齢性の難聴は誰にも起こりうるし認知症の危険要因ともなる。補聴器購入助成制度の考えは。

保健福祉部長 加齢性難聴の補聴

器は生活用具の一つとして助成対象ではありませんが、国の動向等を注視していきます。

質問 保育料の完全無料化についての考えは。

市長 子どもは家庭での保育も重要であり地域みんなで育てることも必要です。今後の国の制度を見極めながら総合的に判断します。

質問 子どものインフルエンザ予防接種の助成の考えは。

保健福祉部長 予防接種の効果やリスク等を踏まえ、医師会等の意見も参考にしたいと考えます。



シルバーカーでお買い物



安力川信之

教育への投資は未来への投資

幼児教育無償化を

質問 国は10月より3歳から5歳までの保育園・幼稚園などの利用料を無料化する。国に先駆けてい

市長 図書館の相互利用を締結した前橋市と同様に、午後7時まで開館時間の延長ができるよう教育委員会と協議していきます。

る渋川市は、保護者の所得に関係なく0歳から無料にすべき。

質問 買い物と通院ができる移動支援を。社会福祉協議会の「あいのり」を通院にも応用すべき。

市長 子どもは、地域みんなで育てたいと考えています。国の制度と財政状況を見極めながら、本市が保育環境充実の先駆けとなれるように取り組んでいきたいと思

市長 公共交通と高齢者の居場所、すたでいばんく、図書館の活用等を複合的、総合的に連携させ、利便性を上げたいと思っています。

ます。

低学年の学力向上を

質問 低学年に徹底した基礎学力を。学ぶ力を育む渋川版教育メソッドを。

ご提案の通院版「あいのり」を研究し、実現できるよう努力します。

教育長 小学校低学年において、学ぶ楽しさを味わいながら、学習内容や学びの姿勢、習慣を身につけることは、学ぶ力の基盤として大変重要なことです。そのための施策を講じていきたいと考えます。

大人だつて学びたい

質問 大人版すたでいばんくを。そのためにも図書館開館時間の延長を。

長を。



小学校低学年の授業の様子